みんなで推進
いわて教育の日
情報紙
第43号
（通巻）

発行「いわて教育の日」推進協議会
代表　吉川健次

事務局 〒020-0667 滝沢市鵜飼向新田７-232
TEL･FAX 019－684－4341

令和七年度「いわて教育の日」のつどい　開催

二十回となりました本年度の「いわて教育の日」のつどいは、十一月十日（月）にトーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）中ホールで開催されました。

県内の教育機関・団体、県民の方々など約三七〇名が出席し、三部構成で行われました。第一部は開会行事と事績顕著者表彰、第二部は講演、そして第三部が児童生徒による発表という内容で行われました。以下にその概要についてお伝えします。

第一部　開会行事

◆主催者挨拶

岩手県教育委員会教育長　佐藤一男

挨拶する
佐藤一男県教育長

令和七年度「いわて教育の日」のつどいを開催するに当たり、岩手県教育委員会を代表し、一言御挨拶を申し上げます。

本日ここに、多くの御来賓の皆様方をお迎えし、教育関係者の皆様方とともに、今年度の「いわて教育の日」のつどいを開催できますことに心から感謝を申し上げます。

東日本大震災津波の発災から十四年が経ちました。児童生徒の心のサポートや震災の教訓の次世代への継承など、今後も重点的に取り組んでいかなければならない多くの教育課題があることから、引き続き、児童生徒一人ひとりに寄り添った支援に取り組むとともに、「いわての復興教育」の一層の推進に取り組んで参ります。

さて、今年度は、「岩手県教育振興計画（二〇二四～二〇二八）」など、取組の大きな柱となる計画がスタートして二年目となります。これらの計画や「いわて県民計画（二〇一九～二〇二八）」のもと、学校教育と社会教育・家庭教育の二つの政策分野を柱として、学びと絆で夢と未来を拓き、社会を創造する人づくりに取り組んで参ります。

また、昨年度六十周年を迎えた本県独自の「教育振興運動」を一層推進し、地域学校共同活動の充実等も図りながら、地域の課題解決に取り組み、県民の皆様とともに、岩手の子どもたち一人ひとりの夢の実現を支え、岩手の未来の担い手として育てていきたいと考えております。

本日は第一部として、今年度の教育表彰を実施させていただきます。受賞される皆様方は、学校教育や社会教育、教育行政など、それぞれの分野において、本県の教育の振興、発展のため、長年にわたり御尽力され、多大な御貢献をいただいた方々であります。

受賞者の皆様方に、深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

今後とも豊かな御見識と御経験をもって、本県教育の振興のために、なお一層の御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第二部では、国立大学法人千葉大学副学長で教育学部教授を務められております貞広斎子様に御講演をお願いしております。

貞広様は、教育政策、教育行財政を専門分野とされており、中央教育審議会副会長、初等中等教育分科会教育課程特別部会など数々の委員を務められており、部会長を務められた初等中等教育分科会　質の高い教師の確保特別

分科会におかれましては、『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について」（答申）のとりまとめに尽力されました。

本日は、その豊富な御経験や知見を基に、「主体的学習者の育成―学習指導要領の改訂と今後の教育」について、貴重なお話をいただくこととしております。

本日の司会は、盛岡白百合学園高等学校の三浦舞子さんに務めていただいており、第三部の児童生徒による発表では、今年度の東北地区弁論大会において優秀賞を受賞した県立盛岡視覚支援学校の阿部玲菜さん、サントリー地域文化賞を受賞し、第七八回全日本合唱コンクール全国大会で金賞を受賞した北上市内三中学校の生徒で構成する北上ミューズコーラス隊の皆さん、第二五回全国中学校総合文化祭に出場した盛岡市立渋民中学校の皆さんが登場します。

また、いわて教育の日に関する条例制定二十周年を迎えた記念企画として、中ホールホワイエにおきまして県内の特別支援学校の児童生徒による作品展を開催しておりますので、子どもたちの日頃の活動の成果をお楽しみいただきたいと思います。

本日のつどいを契機として、多くの県民の皆様、教育関係者の皆様方に、教育への関心や理解を高めていただきますとともに、今後におきましても、学校、家庭、地域、行政が一体となった教育の推進に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本県教育の一層の発展と、本日御参会の皆様方の今後益々の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、開会に当たっての挨拶といたします。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

◆来賓祝辞

岩手県議会議長　城内愛彦　様

祝辞を述べられる
県議会議長　城内愛彦様

令和七年度「いわて教育の日」のつどいが開催されるに当たり、岩手県議会を代表して、一言お祝いを申し上げます。

本日、ご参集の皆様方におかれましては、本県教育の充実と発展のため、日頃から多大なご尽力をいただいているところであり、深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

また、本日、教育表彰を受けられます皆様方におかれましては、長年にわたり本県教育の各分野の振興に多大なご貢献をされ、他の模範となられる方々であり、これまでのご功労とご功績に対しまして、重ねて敬意を表しますとともに、衷心よりお祝い申し上げます。

ご案内のとおり、いわて教育の日は、県議会と県教育委員会が連携し、平成十七年に制定した「いわて教育の日に関する条例」により、県民の教育に対する関心と理解を深め、県民一人ひとりが教育の重要性を認識し、そのあり方を考える契機となることを願って設けられました。

現在、本県においては、児童生徒の心のサポート体制の充実や「いわての復興教育」の一層の推進、確かな学力の育成などの取組を推進しているところでありますが、先の県議会九月定例会においても、本県の教育に関する諸課題について多くの議論が交わされたところであります。

次代を担う子どもたちが、豊かな人間性と社会を創造するための生きる力を身に付け、岩手の未来を切り拓く人間として成長することは、県民全ての願いであり、その実現に向け、学校・家庭・地域社会が連携して取り組んでいくことが重要であると存じます。

県議会といたしましても、引き続き、県教育委員会や関係各位と連携し、教育の充実と発展に努めて参りますので、ご参集の皆様方におかれましても、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日のつどいを通じて、お互いの立場や世代を超えた交流が、より一層促進されますことをご期待申し上げますとともに、本日ご参集の皆様方の今後ますますのご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

◆教育表彰（事績顕著者表彰）

開会行事に引き続いて、本県教育の振興に多大な貢献をされた団体・個人に、岩手県教育委員会佐藤一男教育長から表彰状と記念品が贈られました。受賞された団体・個人の方々は次の通りです。

（敬称略）

学校教育

○遠野市立附馬牛小学校

地域に古くから伝わる昔話の伝承活動に取り組み文化振興に大きく寄与するとともに、学習の成果として地域のイベント活動で披露するなど、学校と地域が連携し特色ある学習を展開し、児童の表現力育成と地域文化の振興に優れた成果を挙げた。

○盛岡市立仙北中学校合唱部

女声合唱の形態で十五名程度で活動しており、全日本合唱コンクールで優秀な成績を収めるとともに、地域住民に向けた公演を通じて合唱の魅力を発信するなど、生徒の表現力育成と地域の文化振興に優れた成果を挙げた。

○岩手県立盛岡第一高等学校生物部
研究・実験、野外実習等に意欲的に取り組むとともに、全国の大会・コンテストにも多数出場するなど多岐にわたる活動を展開し、自然科学に対する探求心の育成と学術的成果の発信において優れた成果を挙げた。

○岩手県立盛岡視覚支援学校
高等部理療科
東日本大震災津波後から災害公営住宅等を訪問しマッサージの施術を行い、地域住民から感謝され評価を得るとともに、生徒個々の勤労観・職業観を育み、社会自立の実現を目指すうえで大きな成果を挙げた。

学校保健

多年にわたり学校医、学校歯科医、学校薬剤師として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

〈学校医〉８名
・清野　雅子　・金井　猛
・橋本　真生　・笹森　史朗
・千葉　純子　・中舘　一郎
・飯塚　和彦　・豊島喜美子

〈学校歯科医〉５名
・佐々木成弘　・伊東　真
・小熊　秀佳　・熊谷　優志
・及川　穣

〈学校薬剤師〉３名
・大坪　尚子　・小早川千秋
・道又　利一

学校保健安全教育

○二戸市立金田一小学校
多年にわたり優れた学校歯科保健活動を展開するとともに、地域の模範となる特色ある取組を行い、児童の口腔の健康の保持増進と学校歯科保健の振興に大きく貢献した。また、学校のみならず周辺校や地域と連携した活動を実施し、地域の学校保健の発展に寄与した。

部活動等の指導

○白藤　友一
多年にわたり陸上部の指導者として生徒の育成指導に尽力し、教育の振興に多大な貢献をした。

社会教育活動の指導者

○菊地　真弓
多年にわたりガールスカウトの活動を牽引し、ガールスカウト岩手県連盟長等の要職に就き、指導者養成及び県連の発展、社会教育の振興に多大な貢献をした。

社会教育団体

○北上市立飯豊小学校ＰＴＡ
役員のほか、「学年委員会」「厚生委員会」「整備委員会」など多くの専門委員が活動を行っている。学校行事への参加も活発であり、周年行事での積極的な活動や、おやじの会を発足して見守り活動や校庭整備等を行うなど、児童の健全育成と社会教育の振興に多大な貢献をした。

○大船渡市立末崎小学校ＰＴＡ
五つの組織で構成されており、各組織が「家庭教育学級の推進」や「校地内道路の整地」など様々な活動に取り組んでいる。小中学校で連携し、年二回の生活向上運動のほか、夏休みには合同で地区別環境整備活動を行うなど、児童の健全育成と社会教育の振興に多大な貢献をした。

○岩手県立水沢農業高等学校ＰＴＡ
小規模でありながらもその特性を活かし、保護者と教職員、生徒が協働で事業運営を行っている。美化活動や文化祭の活性化に取り組んでいるほか、会員交流会で生徒の学習成果を広く伝える機会をつくるなど、各種行事への参加者の増加に尽力し、生徒の健全育成と社会教育の振興に多大な貢献をした。

学術・文化財

○高橋　信雄
埋蔵文化財の調査研究に尽力したほか、被災地の発掘調査を全国で支える仕組みづくりに貢献した。花巻市博物館では、考古・歴史をはじめ多種多様な展覧会を開催するとともに、花巻人形の研究に取り組むなど、文化財の保護に多大な貢献をした。

○相原　康二
柳之御所遺跡の調査及び保存への献身的な働きかけが柳之御所・平泉遺跡群の国史跡指定に多大な貢献をしたほか、文化財行政の第一線で指導的役割を果たし、県内外の文化財に関する調査・研究成果の普及に尽力するなど文化財の保護に多大な貢献をした。

○早池峰大償神楽保存会
全国各地で開催される民俗芸能行事のほか、中国やアメリカなどでの海外公演も行っている。また、後進の指導にも熱心に取り組み、保育園から高等学校までの子供たちに指導を行うなど、地域文化の継承及び向上に大きく貢献した。

○早池峰岳神楽保存会
全国各地で開催される民俗芸能行事で公演を行うなど、活発な活動を行っている。また、バリ島との国際交流にも取り組み、世界に向けた魅力発信に尽力するなど、地域文化の継承及び向上に大きく貢献した。

○鵜鳥神楽保存会
長年にわたる地域に根差した活動を通じ、無形民俗文化財の保護及び普及に尽力している。後継者育成のための小学校と連携した神楽の技術指導や、外国人観光客に向けた公演など、多角的な活動を通じて地域文化の継承及び向上に大きく貢献した。

教育行政

多年にわたり教育行政の推進に尽力し、教育の振興に多大な貢献をした。
・佐藤　卓　・後　忠美
・前原　静美　・成田　不美

教育表彰―受賞者からの声

学校保健安全教育　表彰

二戸市立金田一小学校　校長
髙橋　聡子

このたびは、学校保健安全教育の部におきまして、素晴らしい賞をいただき心より感謝申し上げます。今回の受賞は、本校が三十年以上に渡って学校・家庭・地域の三者が一体となって「学校歯科保健活動」に取り組んでいることを高く評価していただいたものと思っております。

中でも、学校歯科医、曽根襄先生の年三回の歯科検診、市の歯科衛生士さんと連携した歯科指導、金田一中学校区による合同学校保健委員会の開催など、子どもたちを取り巻くすべての方々にご指導・ご支援いただき、現在本校のむし歯のない子どもの割合は九割を超えています。

また、学校独自の「給食前のかみかみ運動」「食後の一斉歯みがき」「木曜日のフッ化物洗口」は、コロナ禍も継続し、少しずつ教師主体から児童主体へと活動が変化し、子どもたちの自己肯定感も向上しています。

今回の受賞を励みとし、今後も学校歯科保健活動を子どもたちと一緒に継続・発展させてまいります。

教育行政　表彰

前久慈市教育委員
成田　不美

この度は教育表彰を賜り大変光栄に思い感謝申し上げます。これは、ひとえに久慈市教育委員会の皆様の支えがあればこそと思っております。

さて、在任中は、たくさんの教育活動を参観する機会がありました。

学校公開の研究授業では、子どもたちの明るい姿が印象的でした。授業者が徹底的に考え抜いた教材や、解明したくなるような問いかけを準備することで、子どもたちの学習意欲が表情に表れたのだと思います。さらには、友達の発言に相槌を打つ自然な姿に感心したものです。

学習発表会（来内小学校の事例）では保護者による自由研究発表があり、ＡＩに昔話の主人公のキーワードを入力したところ、全く似つかぬ顔が現れたことや、子どもたちの「どんぐりと山猫」の劇に突如、先生方が現れ特技を披露し「だから私が一番偉い！」と話を広げたことには驚かされました。

学習発表会を終えて（来内小学校）

少人数だからこそ、保護者や先生方が、物の見方や考え方の広がりを意識させる工夫をしたのだと思います。

これは、ほんの一部ですが、工夫された教育活動で子どもたちを育てていると感じた在任期間でした。

社会教育団体　表彰

北上市立飯豊小学校ＰＴＡ　会長
髙橋　卓也

この度は教育表彰を賜り、大変光栄に存じます。これまで本校の活動にご尽力くださいました先輩方、地域の皆様、保護者の皆様、先生方、すべての方々に心より感謝申し上げます。

北上市立飯豊小学校は、昨年、創立一五〇周年を迎えました。六年生児童がデザインした記念Ｔシャツを作製し、胸元には飯豊伝統の鬼剣舞の絵柄、背中には力強い「Ｉｔｏｙｏ」の文字を入れました。運動会や式典で全校児童が着用し、記念にみちのく芸能まつり市民パレードにも参加し、記憶に残る事業となりました。

本校学区内には多くの企業が建ち並び、新しい道路の開通もあり交通量が増加、大型車両の通行も増えています。交通安全への意識は高く、「おやじの会」をはじめ、地域の方々や保護者による見守り活動を継続して行っております。また、各地区の区長、自治会長をお招きしての地区懇談会にて情報を共有し、親としても常に意識しながら、地域と共に見守っていくことの必要性を再認識しております。

これからも子どもたちの成長、心身の健全育成を願い、見守る組織として尽力してまいります。改めまして、今回の受賞に際し、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

第二部　講演

演題　「主体的学習者の育成―学習指導要領の改訂と今後の教育―」

講師　貞広　斎子　氏
（千葉大学副学長・教育学部教授）

講演では、最初に、国際学力調査で最上位であり日本の学力水準が高く上位の生徒と下位の生徒の格差がないなど、日本の学校教育が大きな成果を挙げていることについて話されました。

次に、学習指導要領の改訂については、「主体的・対話的で深い学びの実装」「多様性の包摂」「実現可能性の確保」の三点を具現化していくという次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方、柔軟な教育課程と特別な指導の必要な児童生徒のための特別な教育課程の二階建てで教育課程を編成する必要性があること、児童生徒のために学校現場と行政が協働でよりよい教育を実現していく必要があることなどが話されました。

最後に、伝えたいこととして、教員のワークエンゲージメントとウェルビーイングを高めるために働きやすさと働きがいを両立した学校づくりを目指していくという教員の働き方改革の視点について話されました。

第三部　児童生徒による発表

◆県立盛岡視覚支援学校　高等部　専攻科理療科［　　］「五感を活かす」

■メッセージ

盛岡視覚支援学校は、幼稚部から高等部専攻科まで幅広い年代の幼児児童生徒が通う支援学校です。私たちは、視覚に障害を持っていますがそれぞれが自分の障害と向き合い、他の感覚を駆使ながら生活しています。そして、本校の校訓である「自分の事は自分でやれ、天を仰いで歩け」を念頭に置き毎日勉強に励んでいます。今回このような発表の機会をいただき大変光栄に思います。

今回発表させていただいたのは、今年岩手で開催された東北地区盲学校弁論大会で、優秀賞を受賞した際の弁論です。とても緊張しましたが、視覚に障害を持っていても、他の五感を活かして補えば出来ないことはないという事を沢山の方に知っていただきたいという思いを込めて発表しました。

◆北上ミューズコーラス隊　・「南島歌遊び」より　収穫・哀怨・陽気な娘たち　・「空」

■メッセージ

私たち北上ミューズコーラス隊は、歌の大好きな小・中学生が集まり学年・学校の壁を越えてメンバー全員で仲良く楽しく活動することを目標としています。毎年の定期公演では、ミュージカルにも取り組んでおり、ダンスやお芝居に挑戦しています。

今回は、中学生のメンバーで今年のＮＨＫ全国音楽コンクールの課題曲「空」と全日本合唱コンクールに向け取り組んだ「収穫」「哀怨」「陽気な娘たち」の四曲を披露しました。「空」では、歌詞の言葉が聞いている方々に届くように、他の三曲は同じ言葉の繰り返しが多い曲なので強弱や声色を変えることに気をつけ歌いました。思い出の曲を披露することができてとても嬉しかったです。

今後もミューズらしい明るい歌声を様々な方々にお届けできるよう学年・学校の壁を越え、仲良く楽しく活動していきたいと思います。

◆盛岡市立渋民中学校　群読劇「アテルイ」

■メッセージ

渋民中学校の伝統である群読劇は現在、特設演劇部として、希望したやる気のある生徒がたくさん集まっています。今年八月には静岡県で行われた全国中学校総合文化祭に出演し、今回とは別の演目「風の吹くところ」を披露しました。支えてくださった皆様に、本当に感謝しています。今年度は、自分たちで創る群読劇を目指し、先生方に頼りすぎず、場面ごとのリーダーや全体のリーダーを中心に練習を取り組んできました。もっと良いものを創ろうと、日々努力しています。

今回の発表が三年生は最後の舞台となるため、緊張しましたが、私たちの全力を出し切ることができました。会場の方々の拍手がとても嬉しかったです。

今後は二年生が主体となって活動していきます。三年生や先輩方が継いできた伝統を次の代、さらに先の代へと継いでいってほしいと思っています。

「いわて教育の日」のつどいに参加して

総合司会者より

盛岡白百合学園高等学校

「いわて教育の日」のつどいの総合司会に任命していただき、ありがとうございました。

総合司会を務めるにあたっては、進行を円滑に進めるために、事前の準備や打ち合わせを大切にして臨みました。

本番では受賞者や来場者の皆様が安心して参加できるよう、精一杯務めました。会場の皆様の温かい反応に支えられ、最後まで落ち着いて進行することができました。行事を終えたとき、私は大きな達成感を得ました。司会として場を支える責任の重さと、やりがいを改めて実感しました。

この経験は自分を成長させる大切な糧になると感じています。皆様への感謝の気持ちを胸に、これからも新しいことに挑戦していきたいと思います。

改めて、今回は「いわて教育の日」のつどいの総合司会に任命していただき、本当にありがとうございました。

参会者から寄せられた感想

盛岡市立仙北小学校長　村田浩隆

「いわて教育の日」の児童生徒の発表は、本県教育がこれまで大切にしてきたことが凝縮されていたと感じました。

盛岡視覚支援学校高等部の阿部玲菜さんの弁論では、「言葉に込めた思いを感じ取ることができる」「目しか悪くない」など、受け入れて前に進む生き方を教えていただいたように思いました。

北上ミューズコーラス隊による合唱では、「中学校でも合唱を続けたい」と複数の中学校から集まり合唱に取り組む思いが歌声となって、真っすぐに観客席に届いてきました。

群読劇「アテルイ」は圧巻でした。渋民中学校が受け継いできた伝統を感じるとともに、演技、歌、演奏、そして群読によって「郷土を愛する熱い思い」が会場いっぱいに広がりました。

ＡＩには決して真似のできない、児童生徒だからこそできる表現に、教育の素晴らしさを強く感じました。

県公立学校退職校長会
岩手地区会　田口功

今年度「いわて教育の日」のつどいに参加させて頂き、生徒の発表を楽しく拝見しました。

阿部さんの弁論、やさしく穏やかな表情で自分の考えを素直に伝えようとするその姿にとても感動しました。物腰の柔らかい表現力にどんどん引き込まれました。自分の感性を大切にし、自分に正直に生きることの素晴らしさを、教えられたような発表でした。

北上ミューズコーラス隊の合唱は、一つ一つの言葉を大切にし、その曲の持つ良さを丁寧に伝えようとする姿に、大変感動しました。日頃、地域では、お互いの考えを尊重し合唱活動している様子を思い描きながら聴かせて頂きました。皆さんの明るい表情と透明感のある歌声は最高でした。

渋民中学校の群読劇、エネルギッシュで迫力ある演技に、圧倒されました。大人数でありながらも、一人ひとりがそれぞれの役割をしっかり演じており、素晴らしいと思いました。また、劇中の重要な部分を担う太鼓の演奏は、躍動感があり、打ち手のリズムや熱量が心にガンガン伝わってきました。途中、少し鳥肌が立つような場面もあり、ただただ感動でした。

生徒の素晴らしい発表に触れ、少し心が温かくなったような感じがしました。ありがとうございました。

県公立学校退職校長会
紫波地区会　大山泰枝

生徒による発表は、いずれも素晴らしく感動しました。

まず、盛岡視覚支援学校の阿部玲菜さんの弁論は凛とした声で「自分は目しか悪くないのだから五感を活かして様々なことに挑戦し歩んでいきたい」と、締めくくられ頼もしく思いました。

次の北上ミューズコーラス隊は年齢や学校の垣根を越えた仲間による合唱です。特にもアカペラで歌った三曲は澄んだ声と言葉を大切にした練習の成果でしょうか内容が良く伝わり、さすが金賞受賞だと感心しました。

最後の渋民中学校による群読劇「アテルイ」は躍動感に溢れた群舞と和太鼓・ピアノを中心とした効果音が台詞を引き立てていて、力強さや迫力が十分に伝わり圧巻でした。

どの発表にも生徒たちの逞しさや日ごろの鍛錬を感じて明るくなりました。

編集後記

情報紙第四十三号が各位の御協力により発行することができました。特にも、何かとお忙しい中、玉稿をお寄せくださった皆様に感謝申し上げます。

今回の号は「つどい」の様子をお伝えすることを中心とした内容で編集しました。「つどい」終了後、多くの方々から「県立盛岡視覚支援学校の弁論、北上ミューズコーラス隊の合唱や渋民中学校の劇がとても素晴らしかった」という評価をいただきました。

県民全体で子どもたちの成長を見守っていくことの大切さを実感させられた「つどい」となりました。

（事務局）